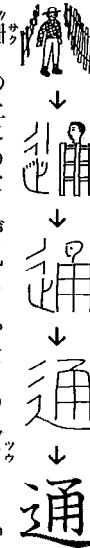


通

二年 画数 10 筆順 マ・ア・凸・凸・通
オン・ツ・ウ・ツ
クン とお||る||す・かよ||う

成り立ち



「柵」の上にあたまが見えるかたちの「甬」と「みちをすすむ」いみをあらわした「通ニユウ」とをくみあわせてついた字です。「柵によつてまもられてゐるみちを、あんしんしてすすむ」ことをあらわした字です。『とおる』こと。もくてきちまで、なんのさしさわりもなくいきつけることが『とおる』ということです。

「はりにいとが『通る』」「いとを『通す』」というようにもつかいます。

また、『かよう（まいにちいつたりきたりする）』と『いういみにもつかいます。

使い方

▽ 通路にものをおくと、じやまになりますから、かたづけて下さい。

▽ わたしは、こうえん通りを通つて、学校に通つています。

▽ おばあちゃんは、目がとおいので、はりにいとを通すことができません。いつも、わたしが、おばあちゃんのかわりに、はりにいとを通します。でも、おばあちゃんは、とてもぬいものがじょうずです。

▽ わたしは、大阪にすんでいるともだちと、文通しています。

▽ 学校から、父母会の通知がありました。

▽ 通路。（通り路）
▽ 通勤。（勤めに通うこと）
▽ 通学。（学校に通うこと）
▽ 通勤。（つとめに通うこと）
▽ 通知。（てつどうや、どうろなどが、できあがつて、通れるようになること）

▽ 文通。（文を通わすこと。てがみを、やりとりすること）
▽ 通知。（知らせること）

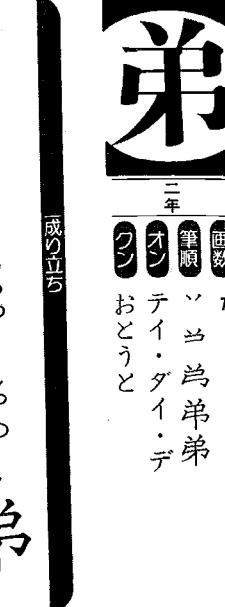
熟語例

▽ わたしの弟は三つです。とてもげんきで、いつもそとで、どろだらけになつてあそんでいます。
▽ うみさち・やまさちという兄弟がおりました。うみさんは、うみにさかなをとりにいきました。弟のやまさちは、やまにかりにでかけました。

使い方

▽ 兄弟（きょうだい）（兄と弟）男のきょうだい。『ケイティ』とよむこともあります。はなしとばでは、『キヨウダイ』とよむのが、ふつうです。）

▽ 義弟（ぎだい）（義理の弟。おとうさんが、おかあさんかが、じぶんとちがう弟のことをいうのが一つ。もう一つは、けつこんしたとすると、けつこんあいての弟が、『義理の弟』ということになつて、『義弟』と、よばれます。じぶんのおとうさんとおかあさんと、おなじおとうさん、おかあさんから生まれた弟は、『実弟』とよびます。）



成り立ち	二年	画数 10
		筆順 ノ・フ・ノ・フ
	オ・ツ・ウ・ツ	
	ク・ン	とお る す・かよ う

ほこのかたちをあらわした「ノ」に、なめしがわをまきつけるようすをあらわした字です。ほこのえに、すべりどめのために、なめしがわをまきますが、そのまきかたの「じゅんじょ」がたいせつなので、その「じゅんじょ」といういみをこの字であらわしました。

のちに、「兄弟」の「じゅんじょ」のいみから、「おとうと」といういみをあらわす字としてつかわれるようになりました（そのため、「じゅんじょ」といういみの字に「弟」という字をつくりました）。

〔漢音の「テイ」がおおく使われ、呉音の「ダイ」は「兄弟」といういいかたくらいである。では「ダイ」のつづまつたもので、「弟子」に使われている。〕

▽ 徒弟（しゅだい）（とししたの、男のいとこ。おとうさんか、おかあさんの、きょうだいのこと）を「いとこ」といいます。）